



いつでも家族と一緒にいるご主人の愛車。キッチンからもダイニングからも見える配置で、ご主人がメンテナンス中でも一体感を味わえます。



大理石風の床から天井、壁までLDK全体を白一色で統一。視線を遮ることなく、窓の景色まで繋がることで、広々とした視覚効果を生み出しています。



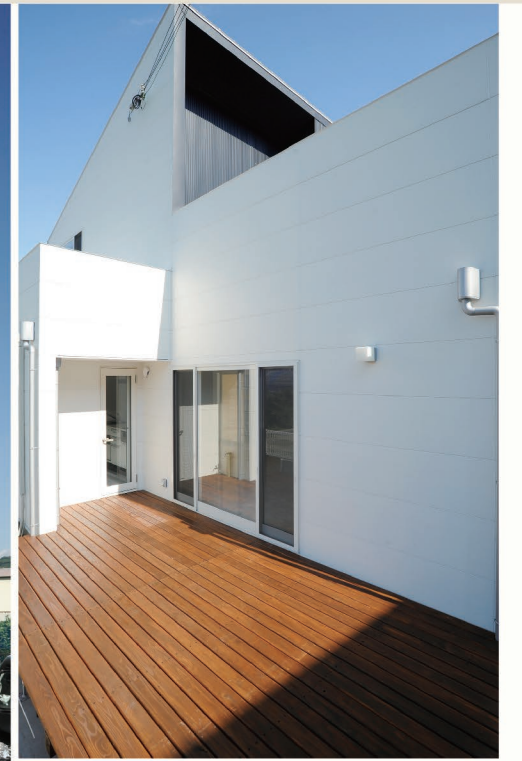
ご主人自慢のバイクはダイニングから出入りできる専用の格納庫に。シャッターを開ければそのまま駐車場へと繋がり、運び出しもスムーズな動線です。



夜のライトアップでより一層、スタイリッシュ感を増す外観。どっしりとした四角の安定感が建物全体を大きく見せ、家族のぬくもりあふれる雰囲気。



扉を開けた瞬間から黒と白の印象を押し出した玄関ホール。自然光を取り入れる窓を間接照明がわりに、採光と立体感のある影をつくり出しています。



▲アウトドア家族の定番は何といても広いウッドデッキ。コスト削減のため工務店にはお断りせず、建て主さんと中道事務所のスタッフが頑張りました。

◀レーサーでもあるご主人の希望はバイクにも映える家。白と黒のツートンカラーでスタイリッシュモダンに。屋外でのバイクメンテナンスも絵になります。

撮影：刈谷栄二

設計・監理
中道哲也【(株)スタジオパートスリー】

施工
城山建設株式会社

建てようネット【和歌山】で建てた新築第52号!

新築工事スケジュール	
〈基本設計期間〉	H23年9月～10月
〈実施設計期間〉	H23年10月～11月
〈見積もり依頼期間〉	H23年11月～12月
〈起工〉	H23年12月1日
〈上棟〉	H24年1月26日
〈完成・引渡し〉	H24年3月14日

住宅データ
家族構成／ ご夫婦、お子さん2人
構造／木造
建築面積／ 78.66㎡ (約23.79坪)
延床面積／ 1F 67.90㎡ (約20.53坪) 2F 43.06㎡ (約13.02坪) 計 110.96㎡ (約33.56坪)
敷地面積／ 165.12㎡ (約49.94坪)
屋根／ガルバリウム鋼板 縦ハゼ葺 外壁／サイディング貼り、杉板貼り、 ガルバリウム鋼板

設計・監理

Tetsuyanakamichi
中道哲也
株式会社スタジオパートスリー
1963年生まれ。25歳のとき我流で建築事務所設立。その後共同でデザイン事務所設立、2003年現事務所に至る。一級建築士。

モットー／
建て主・施工者・設計者 三位一体

施工

城山建設株式会社

「やりたいことの優先順位を付けると、人生で必要なこととライフスタイルが見えてきます。資源にもお金にも限りがあり、どちらも大切なもの。エコという言葉は家づくりにも重要な要素で、地球のこと、未来のことを考える時代がやってきたのだと思います。その中で大切なのは互いの協力だとも、中道さんは言います。建て主さんと建築家と工務店、この三者の関係性。それぞれが尊重し合い、思いをつげ合うことで、高め合いながら仕事を進めていくことができるのです。人と人の繋がりが家をつくることであり、人生を築く絆。家づくりは生涯の出合いも演出します。

「やりたいことの優先順位を付けると、人生で必要なこととライフスタイルが見えてきます。資源にもお金にも限りがあり、どちらも大切なもの。エコという言葉は家づくりにも重要な要素で、地球のこと、未来のことを考える時代がやってきたのだと思います。その中で大切なのは互いの協力だとも、中道さんは言います。建て主さんと建築家と工務店、この三者の関係性。それぞれが尊重し合い、思いをつげ合うことで、高め合いながら仕事を進めていくことができるのです。人と人の繋がりが家をつくることであり、人生を築く絆。家づくりは生涯の出合いも演出します。

というも、土地と家込みの上限金額が決定していたため、相談はローコストから。希望の分譲地が見つかったのは後には引き算。ローコストの場合、残りの金額で出来ることを考えるのではなく、やりたいことに優先順位を付けて、「二つデザインに入れ込んでいくカタチを取ります。我慢はしないし、させません。建て主さんの夢を叶えることが、われわれデザイナーの役割です」と中道さんは言います。千田の家のご主人は、バイクレースに参戦するレーサー。絶対的な条件はバイクの屋内管理メンテナンス場所。センス的にもこだわりがあり、バイクが映える黒と白のスタイリッシュモダンがお好み。子ども部屋は将来的な間取りで、大きくワンフロアにも、分けて2部屋にすることもできます。アウトドア家族に相応しくデッキは広め。室内空間に幅をもたせるためリビングと繋がるように配置し、家族みんなが集まる憩いの場所に、開放的な外の風景を取り込んでいます。

「やりたいことの優先順位を付けると、人生で必要なこととライフスタイルが見えてきます。資源にもお金にも限りがあり、どちらも大切なもの。エコという言葉は家づくりにも重要な要素で、地球のこと、未来のことを考える時代がやってきたのだと思います。その中で大切なのは互いの協力だとも、中道さんは言います。建て主さんと建築家と工務店、この三者の関係性。それぞれが尊重し合い、思いをつげ合うことで、高め合いながら仕事を進めていくことができるのです。人と人の繋がりが家をつくることであり、人生を築く絆。家づくりは生涯の出合いも演出します。」

建てようネット「和歌山」は、一生に一度の家づくりを応援する街の相談所。「自分たちにぴったりな家づくりどんな家?」「建築家さんとか家を建てるのって大変?」「コスト的にはどうなんだろう?」など、疑問・質問はもちろんのこと土地探しからデザイン、ローンのことまで、役立つ家づくりの最新情報を集めて無料でお届けしています。

人気のデザイナーと気軽に面談できるのも利点。今回の「千田の家」も、建て主さんの「会ってみたい」というところからスタートしました。紹介したのはズタイトルフリーをモットーに、敷地や構造、コスト面など、さまざまなアングルから建て主さんの理想とする住まいをカタチづくる、株式会社スタジオパートスリーの「中道哲也さん」。もともと建て主さんが中道建築のファンでもあり、面談で意気投合して話が進んでいきました。「第一印象から気持ち良く、何でも腹を割って相談していました」と建て主さんの後日談。

三者互いの協力で
夢をカタチにする
未来型のエコ住宅

千田の家
Chidanoie